



三菱 パス乾燥・暖房・換気システム(壁掛タイプ)

形名 **V-241BK5-RN** リニューアル **バスカラット**

据付説明書

販売事業者・据付事業者様用

■本製品は住宅用です。業務用途では使用できません。
 ■この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付けが必要です。
 据付けの前に、この説明書を必ずお読みください。

本製品の施工にあたっては、地域により防災上での制限(火災予防条例に基づく指導)がありますので、詳細は行政官庁または所轄の消防署にお問い合わせください。
 特に集合住宅において、換気扇からの取り替えの際にはご注意ください。(法規制に適合しないことがあります)
 (本製品は(一社)日本電機工業会が定める自主試験基準に準じた試験を実施し、安全性を確認しております)

別冊の「取扱説明書」はお客様用です。必ずお渡しください。

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
禁止	内釜式風呂を据付けた浴室には据付けない 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因 直接炎のあたるおそれのある場所には据付けない 火災の原因
水ぬれ禁止	製品を水につけたり、水をかけたりしない 充電部への水浸入により、感電やショートの原因
分解禁止	改造や分解はしない 火災・感電・けがの原因
指示に従う	単相交流200Vを使用する 単相交流200V以外で使用すると 火災や感電の原因 電源コードの接続は確実に 不確実な接続は接続部が過熱して発火の原因
	電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因
	メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように据付ける 漏電した場合、発火の原因
	据付け後、長期間使用しないときは、分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因
	アース線を確実に取付け、漏電しゃ断器を設ける 故障や漏電のときに感電の原因

注意	誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
指示に従う	本体は十分に強度のある所を選んで確実に据付ける 落下により、けがの原因
指示に従う	部品の取付けは確実に行う 落下により、けがの原因 据付けの際は手袋を着用する 着用しないと、けがの原因

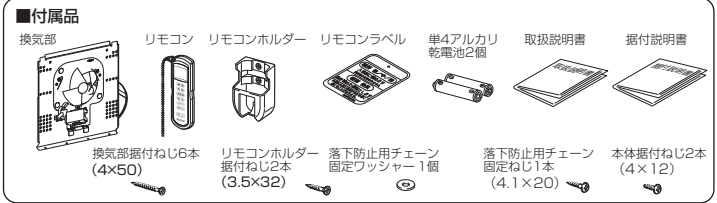
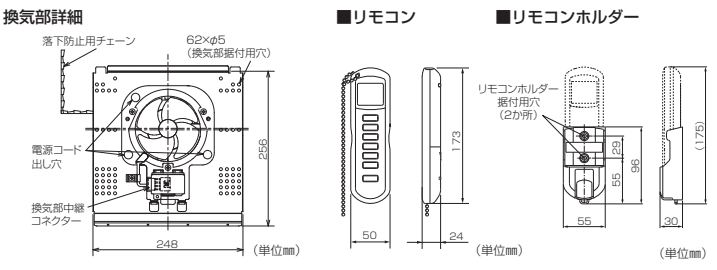
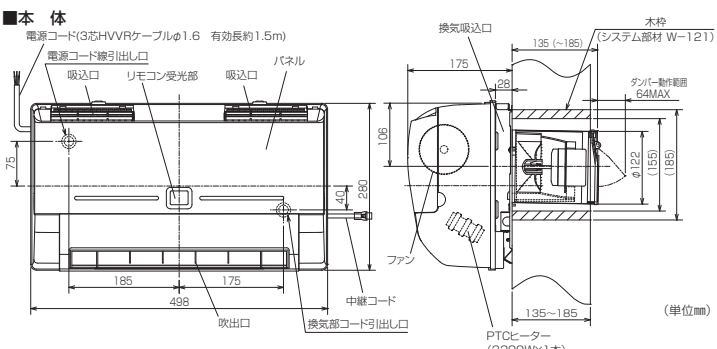
据付け前のお願い

- この製品は、浴室または脱衣室の壁面据付け専用です。浴室または脱衣室以外の場所への据付け、天井面への据付けはしないでください。
法規制に適合しないことがあります。
- 製品の質量は約9.0kgです
据付ける壁面や既設の換気口(木枠)が十分に強度のあることを確認してください。状況によっては補強や追加の部材が必要になることがあります。
- リモコンは浴室にも設置できますが、浴槽の上や直接お湯や水がかかる場所には据付けしないでください
故障の原因になります。
- 製品下端から床面まで1.7m以上確保してください
- 温風があたる位置にプラスチック材など熱による変形等の不具合が起きる可能性があるものを設けないでください。
- 点検が実施できるように据付け時には下記点にご注意いただき設置をお願いします
●電源配線の接続部分が壁の中にあたり、後日点検できない場所に配置されないようにしてください。
●製品を点検修理できない場所には据付けないようにしてください。
●製品の据付け部には接着剤や両面テープ等、製品の取り外しが困難になるようなものは使用しないでください。
- 製品の据付けには、下記の規制がありますので、あらかじめご確認ください

地域により防災上の制限(火災予防条例に基づく指導)が異なりますので、所轄の行政官庁または消防署へお問い合わせください。

- 指定する寸法で据付けること。
- 本体は壁面に堅固に据付けること。
- 浴室内への温風吹出口および空気吸込口前方100mm未満の範囲内には造営材など(乾燥する衣類を含む)を設けない。
- 漏電しゃ断器を設けること。
- 浴室換気扇からの取替の場合、漏電しゃ断器の電流容量(20A)と電源電線の太さ(φ2.0)を確認し、不適合の場合は交換してください。

各部のなまえと寸法(外形寸法図)



■現地で準備していただく部品

角穴・丸穴共通	単相交流200V電源コード	600V定格、VVVFケーブルφ2	適宜
	アース線	銅線直径φ1.6以上(または断面積が1.25mm ² 以上)	適宜
	アース棒		適宜
	防水ジョイントボックス	WJ4100 (パナソニック(株)製)相当品	1個
	衣類用下げ用パイプ	耐荷重4kg以上 不燃性、耐食性のあるもの	適宜
	差込形コネクタ		3個
	アルミテープ		適宜
	コーキング材		適宜
	コルゲートチューブ		適宜

■角穴の場合

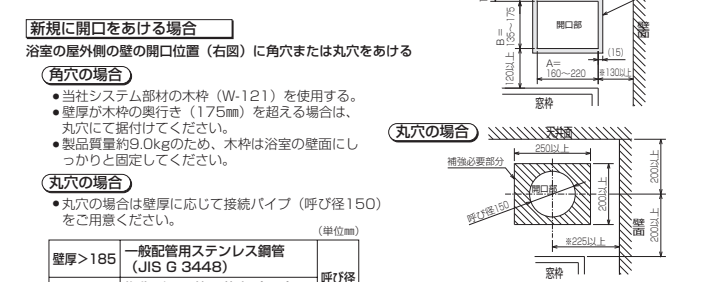
屋外ウェザーカーバー	P-12CVP、P-10CVS	適宜	外壁面据付け用
木枠	※フード内の仕切板は必ず使用してください。 W-121	適宜	本体据付け用

■丸穴の場合

フード・ベントキャップ	P-18KFA _s 、P-18FA _s ※壁厚202mm以上でないといと据付けできません。 P-18VS ₄ 、P-18VA ₃ 、P-18CV ※壁厚135mm以上でないといと据付けできません。 P-18RS ₂ 、P-18RA ₂ ※壁厚211mm以上でないといと据付けできません。	適宜	外壁面据付け用
接続パイプ	一般配管用ステンレス鋼管 または塩化ビニル管の薄肉(VU)、φ150	1本	

据付方法

- 1 据付け前の準備
- 既存の換気口を利用する場合
- 1 既設の換気扇または換気ファンを取りはずす
 - 2 右図に示す開口があることを確認する
●開口は天井や壁面から所定の位置が確保できていることを確認する。
据付けできない場合や法規制を満足できない場合があります。
- 据付け可能な開口位置・寸法 (単位mm)
- ※下記は本体の端を換気部の端に合わせて据付けるときに、壁面・天井より本体の温風吹出口および空気吸込口まで100mm確保できる寸法となっています。本体と換気部の中心を合わせて据付けられる場合は、「※」の寸法に100mm以上加えた寸法としてください。



■新規に開口をあける場合

浴室の屋外側の壁の開口位置(右図)に角穴または丸穴をあける

■角穴の場合

- 当社システム部材の木枠(W-121)を使用する。
- 壁厚が木枠の奥行き(175mm)を超える場合は、丸穴にて据付けてください。
- 製品質量約9.0kgのため、木枠は浴室の壁面にしっかりと固定してください。

■丸穴の場合

- 丸穴の場合は壁厚に応じて接続パイプ(呼び径150)をご用意ください。

■警告

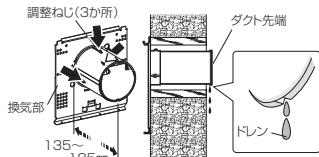
メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように据付ける漏電した場合、発火の原因

- 使用する接続パイプにより開口寸法が異なります。
- 雨水の浸入を防ぐため壁穴とダクトとのすき間のコーキングは確実に行ってください。
- 背面は十分な補強を行ってください。
- 壁厚>185mmの場合は屋外に向けて下り勾配になるように1/100の傾斜をつけてください。(雨水の浸入防止)

据付方法

2 換気部の据付け

- 壁厚に合わせてダクト部分の調整ねじを緩めて調整し、ねじを固定する(壁厚135~185mmの間は調整可能)
 - ダクトの先端が屋外側に出るように位置を決める。
 - 位置決め時に生じる換気ダクトの長さのすき間、パイプのあわせ部のすき間はアルミテープ(市販品)でふさぐ。



- 落下防止用チェーンを開口部に通し、換気部を据付ねじ6本で固定する

角穴の場合

- ねじ締め位置は、なるべく木枠の厚みに対し中央にある穴を使用して据付ける。
- 木枠に付属の据付ねじを使用する。

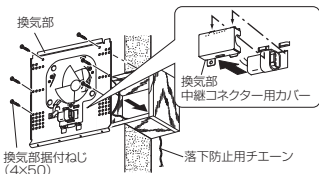
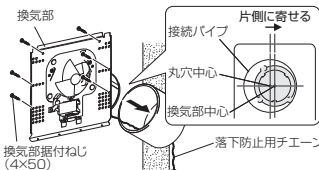
丸穴の場合

- 据付ける壁面は十分な補強を行ってください。
- 丸穴の場合は電源コードを通すため、換気ダクトを片側に寄せて据付ける。
- 付属の据付ねじを使用する。
- 壁がタイルの場合はタイルが割れないよう目字にステンレス製のタイル用のねじ(市販品)6本で据付ける。

角穴・丸穴共通

- 外気逆流防止のため、電源コードを通す穴以外の不要な穴はアルミテープでふさぐ。
- 水平に据付ける。
- 本体が傾くと、故障の原因になります。

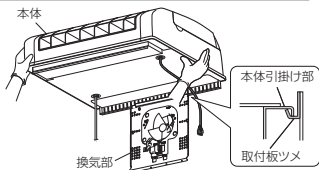
- 換気部中継コネクタ用カバーを取りはずす



3 本体の据付け

- 本体の引掛け部を換気部の上部ツメに引掛ける

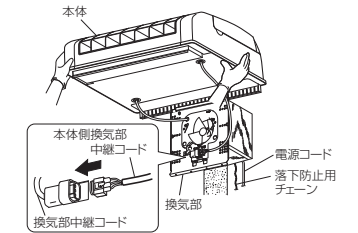
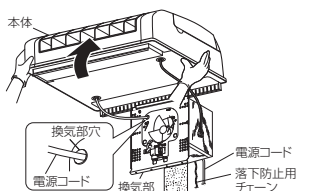
- 本体は左右あわせて200mmスライドできます。壁面・天井面より、本体の温風吹出口および空気吸込口まで100mm確保されていることを確認します。
- 本体が換気部からはみ出さないように引掛けます。
- 確実に引掛かっていることを確認します。



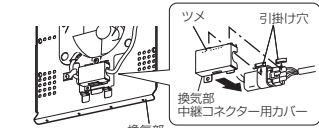
- 本体を手前に持ち上げて、電源コードを換気部の穴に通して押し込む
- 本体を手前に持ち上げる際、手をかける位置によっては、本体が傾く場合があるのでバランスのよい位置を選んで持上げてください。

- 本体を手前に持ち上げた状態で、本体側の中継コネクタを換気部側の中継コネクタに差し込む

お願い カチッと音がするまでしっかり挿入してください。挿入不足だと換気ファンが動作しません。

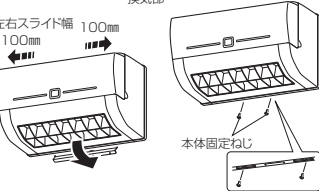


- 換気部中継コネクタ用カバーを取付ける



- 本体下部と換気部を付属ねじ2本で固定する

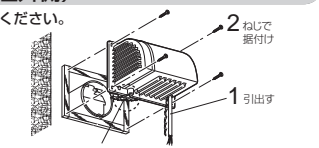
- 本体を換気部に降ろす際、電源コードおよび換気部中継コードがかみ込まないように注意する。
- 本体のスライド位置により、ねじ固定位置が異なります。



4 ウェザーカバー(システム部材)の据付け(屋外側)

雨水の浸入を防ぐため、ウェザーカバーは必ず据付けてください。

- ウェザーカバーのコード穴から電源コードを出し、ウェザーカバーのすき間から落下防止用チェーンを取り出す



- 外壁面にウェザーカバーをねじで据付ける
- 換気部シャッターの開閉を必ず確認してください。障害物(ウェザーカバーのしきり板など)がある場合は取り除いてください。

- 外壁面側の補強された部分に落下防止用チェーンを取付ける

- 落下防止用チェーンは、ワッシャーをねじを通して木枠以外のしっかり補強された部分に取付ける。
- 落下防止用チェーンは、たるまないように取付ける。



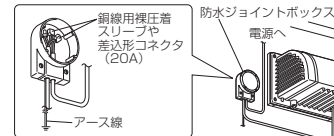
5 電気工事

- 電源接続は必ず浴室外で行う。
- 電源は必ず分電盤の専用ブレーカー(20A)に接続する。
- 漏電しゃ断器は20Aのものを使用する。
- ※ブレーカーには浴室暖房乾燥機用ブレーカーとわかるように表示をしてください。
- 壁スイッチを経由した電源の接続はしない。壁スイッチの焼損や本体の誤動作、故障の原因になります。
- D種接地(アース)工事を確実に行う。
- 電源コードに接続する電線はφ2.0を使用する。径が小さいと電線の焼損や火災の原因になります。
- 防水ジョイントボックス(市販品)の中で銅線用裸圧着スリーブ(市販品)、差込形コネクタ(市販品)などで結線図に従って結線してください。
- 屋外では電源コードが露出しないように、コルゲートチューブ(市販品)で覆ってください。

警告

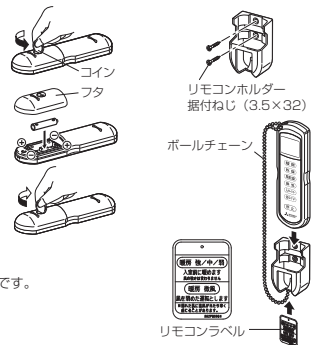
- 単相交流200Vを使用する
- アースを確実に取付け、漏電しゃ断器を取付ける
- 電源コードの接続は確実に行う
- 電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って有資格者が安全・確実に行う

火災や感電の原因



6 リモコンホルダーの据付け

- リモコンに付属の単4アルカリ乾電池2本を入れてフタをする
- フタはしっかりと取付けてください。



- リモコンホルダーを付属のねじ2本で据付ける
- リモコンは生活防水ですが、浴槽の上や直接水やお湯がかかる位置には据付けないでください。
- 浴室に据付けるか、脱衣室に据付けるかはお客様と相談してください。

浴室に据付ける場合

- 浴室に据付ける場合は、ボールチェーンを取付けてください。
- ボールチェーンを取付けた状態でリモコンが床に届かない高さで据付けてください。
- ねじ穴は必ずコーキング処理を行ってください。

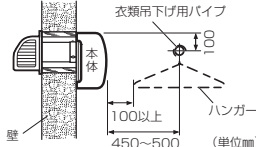
脱衣室(浴室以外)に据付ける場合

- ボールチェーンをはずしてご使用いただくことも可能です。

- リモコンラベルをリモコンホルダー下部のリング、またはボールチェーンに取付ける
- ボールチェーンを取付ける場合は、なるべくリモコンホルダーに近い位置に取付けてください。

7 衣類吊下げ用パイプ(市販品)取付け

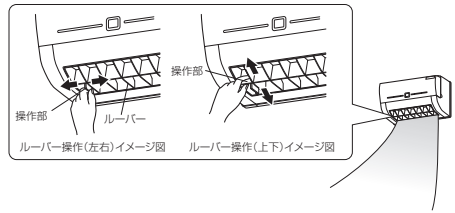
- 右図の位置に取付ける
- パイプ(市販品)は、1本当たり耐荷重4kg以上で、耐熱・不燃性のものを使用する
- また、取付け部分が十分に強度のあることを確認してください。
- パイプの取付け位置は必ず図の寸法で取付ける
- 指定以外の寸法で取付けると、乾燥時間が長くなります。



お願い 本体から吊下げパイプまでの距離は450mm以上離し、かつ、ハンガーを掛けたとき100mm以上確保できる寸法で取付けてください。近づけすぎると衣類の変色や変質の原因になります。

8 風向の調整

- 風が洗い場床面の中央を向くように、ルーバーの角度を調整してください。
- ルーバーの角度の調整は、操作部で操作してください。



据付後の確認

据付が完了しましたら、下表に従ってもう一度点検してください。不具合がありましたら必ず直してください。(機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません。)内容を再度ご確認ください。問題がなければチェックボックスにチェックマーク(✓)を記入してください。

	確認項目	確認
製品据付	本体の据付けは緩みなどなく、確実に据付けられていますか?	<input checked="" type="checkbox"/>
	製品の吸込口、吹出口は塞がれていませんか?	<input type="checkbox"/>
電源電線	電源電圧は単相交流200Vですか?	<input type="checkbox"/>
	ブレーカーの定格、電源線の太さは適切ですか?	<input type="checkbox"/>
	アース工事(D種接地工事)をおこなっていますか?	<input type="checkbox"/>
その他	吹出口の向きは正しいですか?	<input type="checkbox"/>

試運転

- 据付けが終了したら、再度結線が間違っていないか、ご確認ください。
- 次に、取扱説明書の「使いかた」を参照して、お客様立ち会いで全運転モードの試運転を行い、下記をご確認ください。

- 本体は確実に据付けられていますか?
- リモコンを操作して、取扱説明書どおり動作しますか?
- 換気ファンは運転していますか?
 - 換気部中継コネクタが正常に接続されていないと運転しません。
- 運転中に振動や異常音がありませんか?

お客様への説明

- お客様が不在の場合は、発注者(オーナーなど)または、管理人様へ説明してください。
- 別冊の取扱説明書に従って、正しい使い方をご説明ください。
- とくに「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようご説明ください。
- 引き渡しまで期間がある場合は、試運転確認後、リモコンの電池を抜き、この「据付説明書」は別冊の「取扱説明書」とともにお客様にお渡しください。

三菱電機株式会社

ご相談窓口
 平日 9:00~12:00 13:00~17:00(土・日・祝・弊社休日以外)
 三菱電機 換気送風機技術相談センター……電話 0120-726-471(無料) 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号
 この説明書は、再生紙を使用しています。